

中建協会広報

発行所
一般社団法人秋田中央建設業協会
発行人

田 中 道

〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号

TEL 018-862-7778

akenkyo@akenkyo.or.jp

秋田中央建設業協会 検索

秋田県「単品スライド条項運用改正」講習会開催

秋田県建設部による『単品スライド条項運用改正講習会』が9月2日(金)午後1時30分から協会3階大会議室で開催され、当協会から27名が出席しました。



今回の講習会の講師として、秋田県建設部技術管理課積算管理班の鈴木班長と大橋主任が、令和4年7月29日付けの「工事請負契約事項第25条第5項(単品スライド条項)の運用の改正について」説明をしました。

これまでの運用ルールでは、「工事材料の価格増加分は、工事材料の実際の購入価格（受注者が提出）と購入した月の実勢価格を比較し、安い方の単価を用いて請負代金を変更」となっていますが、新たな運用ルールは、購入価格が適当と示す証明書類を提出した場合は、実際の購入価格のほうが高くても、変更後の単価として用いて請負代金額を変更することが可能になり、年度毎に完済部分検査を行う複数年に跨る維持工事の場合は、各年度末に単品スライド条項を適用することも可能となりました。

対象品目については、品目類ごとの増額分が、

対象工事費の1%を超えるものが対象となります。また、物価資料の価格がある場合においては、実際の購入金額の方が高い場合、実際の購入金額が適当な購入金額であることを証明する書類を示し、実際の購入金額が適当な購入金額であると認められる場合には、実際の購入金額とする新たな運用も行われます。

これらの詳しい運用や様式については、秋田県公式サイト（美の国秋田ネット）から閲覧・ダウンロードが可能なので、そちらをご覧ください。



昨今の資材の高騰・品不足に伴う価格上昇や納入期間の長期化などにより、各社の経営基盤が大きな負担を強いられている中、今回の講習により「工事請負契約書第25条」の理解がなされ、発注者と受注者双方の情報共有や協議が円滑に行われることにより変更業務等の迅速な事業執行がなされ、双方の負担の軽減につながることを期待しております。



秋田地域振興局

秋田県優良工事地域振興局長表彰式

秋田県道路除雪オペレーター表彰式

第15回秋田県優良工事地域振興局長表彰式が、9月1日(木)午後2時から秋田地方総合庁舎会議室で行われ、今年度は4工事が選定され、このうち当協会からは天喜建設(株)、(株)杉貞石材の2社が受賞しました。

第4回秋田県道路除雪オペレーターの秋田地域振興局長表彰式が9月1日(木)午後3時から秋田地方総合庁舎会議室で行われ、「マスター部門」で当協会会員企業からは(株)加藤建設 石川克紀氏が表彰されました。



第43回 秋田県優良工事表彰

第43回秋田県優良工事表彰式が、9月6日(火)午後3時30分から秋田県庁正庁で行われました。

昭和55年から実施されているこの表彰は、県内建設企業の技術の向上を図ることを目的に、前年度に完成した県発注工事の中から、特に優秀な工事を選定して施工企業と監理技術者等を表彰するもので、今回は1,755件の対象工事の中から36工事が優良工事に選定されました。これらの工事は、自然条件や施工上の制約が厳しい中、優れた技術力と創意工夫により完成させているほか、品質確保、安全対策面にも配慮されており、この36工事のうち、当協会からは5工事が優良工事として表彰されました。また、今回10回目の受賞となる(株)加藤建設が「特別表彰」を受賞しました。

工事名	工事箇所	施工業者	代表者
高岳地区 農地集積加速化基盤整備工事	南秋田郡 八郎瀧町真坂	(株)セコー	加藤 政之
五里合地区 農地集積加速化基盤整備工事	男鹿市 五里合	藤田建設(株)	安田 張幸
地方道路交付金工事(改築)	男鹿市 男鹿中浜間口	(株)加藤建設	加藤 正己
地方道路交付金工事(舗装補修)	秋田市 土崎港南	(株)板橋組	板橋 広光
向浜ふ頭用地造成工事	秋田市 向浜	(株)沢木組・(株)伊藤羽州建設 特定建設工事共同企業体	沢木 則明

高校生の現場見学会

《男鹿工業高校》

9月6日(火) 男鹿工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

設備システム科の1年生28名と先生2名が参加し、秋田市雄和相川地内で施工中の秋田雄和本荘線水沢橋及びバイパス工事、秋田市雄和の秋田空港、秋田市向浜下水道秋田臨海処理センターの4か所を見学しました。

秋田雄和本荘線相川工区は、秋田市と由利本荘市を結ぶ幹線道路として緊急輸送道路としての機能確保、老朽橋対策、重交通への対応などを目的に橋梁架け替えと狭隘な現道部のバイパス化を行っており、早期供用に向けて現在は橋梁の床版工事及びバイパス部の舗装工事を行っています。

生徒たちは施工中の橋梁床版の上を渡り、コンクリート打設状況を見学したり、舗装工事でのICT建機施工の説明を受け、施工規模の大きさや最新の土木技術に関心を寄せていました。

秋田空港管理事務所では、空港管理道路を周回して普段は入れない空港施設を見学しました。途中、目前で航空機が離陸する機会に遭遇し、歓声を上げ動画を撮影するなどの一幕がありました。

下水道秋田臨海処理センターでは、処理場や処理施設の概要説明を受け、その後最新の機械設備や最終沈殿池を見学し、快適な生活環境の提供と水環境の保全のための下水道の重要な役割を学ぶことが出来ました。

コロナ禍の影響により2年ぶりの現場見学会でしたが、生徒たちにとって有意義な体験となったようです。



《金足農業高校》

9月15日(木) 金足農業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

環境土木科の1年生26名と先生2名が参加し、秋田雄和本荘線の水沢橋と相川工区、秋田市雄和の新波川、秋田港アクセス道路、金足西部地区ほ場整備事業の5か所を見学しました。

秋田雄和本荘線水沢橋及び相川工区は、秋田市と由利本荘市を結ぶ幹線道路の機能確保、老朽橋対策、重交通への対応などを目的に橋梁架け替えと狭隘な現道部のバイパス化を行っており、早期供用に向けて現在は橋梁の床版工事及びバイパス部の舗装工事を行っています。

生徒は施工中の橋梁床版の上を渡り、工事進捗状況を確認したり、舗装工事の説明を受け、施工規模の大きさや最新の土木技術に関心を寄せていました。

また、新波川では生徒全員がICT機械、ドローンの操作体験を行いました。全員見事な操縦技術で、現場の技術者を驚かせていました。

午後からは、本格的な工事はこれからですが、秋田の今後の物流・観光のカギとなる、秋田港アクセス道路の工事内容や今後のスケジュールについて説明がありました。

最後に、大型機械導入による作業能力効率化や、水管理の省略化による地域農業の持続的発展のために行われている、金足西部地区のほ場整備について説明を受け、レベルの競技を行い現場見学会を無事終了しました。



秋田工業高校生によるインターンシップを実施

去る9月6日（火）～8日（木）の3日間にわたって秋田工業高校生によるインターンシップが実施されました。受け入れ事業所28社に対して秋田工業高校生58名が参加しました。

今回は、株式会社林工務店さんと株式会社加藤建設さんで行われた実習の模様をご紹介します。

株式会社林工務店さんの実習では、同校2年建築科の高橋悠斗さん、田中乃愛さん、高橋楓河さんの3名が、新複合化相談施設（仮称）建築工事（秋田市手形住吉町）の現場で実習作業を行いました。1日目は現場施設の説明とCADやパソコン操作、2日目と3日目は現場での測量実習等を行いました。



株式会社加藤建設さんの実習の参加者は秋田工業高校2年土木科の藤田隆介さん、佐藤竜馬さんの2名で、1日目は秋田港作業所内での見学、2日目は地方道路改築補助工事秋田港アクセス道路（秋田市

下新城）の現場で測量実習と丁張りの作業、3日目は同現場で3次元測量やレベル測量を体験しました。



5人の生徒さんからは「学校の授業と実際の工事現場とを照らし合わせることで学びが深まった」「ひとつの現場でも多種多様な業種の方が作業分担をしていることがわかった」「現場での実習は初めてで最初はとても緊張したが、声かけをしてもらったことでリラックスできた。現場では人とのかかわりあいが必要だと感じた」などの感想が聞かれました。今回の体験を今後の授業や進路に生かしていただければ幸いです。

株式会社林工務店の石井所長さん、株式会社加藤建設の工事部佐藤主任さん、お忙しいなか取材にご協力いただきありがとうございました。

理事会・委員会

◎経営・総務委員会

9月16日（金）11時から委員会を開催し、次の事項について協議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

議 題

1. 県立高等学校への担い手確保・育成事業(寄贈)について
2. 秋田県公共工事に関する要望(制度要望)について
(平野委員長、小南副委員長、板橋(広)・中田・佐々木(徹)委員)

◎理事会

9月28日（水）午前11時から第3回理事会を開催し、次の事項について審議した結果、いずれも原案どおり承認されました。

議 題

1. 経営・総務委員会の開催結果について
2. 協会行事予定について
(加藤会長、長谷川副会長、沢木・菅原(廣)・渡辺・小南・加藤(正)・石塚・伊藤(仁)・菅原(孝)・伊藤(久)・板橋理事、加藤(政)監事)